



① 県内外16地域の教職員らが、文化遺産など7つのテーマに分かれて事例発表した分科会／② 全体会の司会進行は平泉中3年生の千葉理奈さんと石川芽衣さん、フリーアナウンサーの千葉絢子さんが務めた／③ 奈良県の斑鳩小による実践発表では「能」を披露／④ 釜石東中による実践発表では橋野鉄鉱山の歴史や先人について紹介／⑤⑥⑦ 会場では来場者に学校ブランド商品(りんご、もち米、キャンドル)を販売し、その収益金は町世界遺産推進基金に寄付された／⑧ 平泉中の実践発表では町内の史跡を案内する「平泉ガイド」を実演した／⑨ 町立幼稚園と平泉保育所の園児による「謡」／⑩ 平泉小と長島小の児童による「平泉讃歌」／⑪ 平泉中学生と達谷窟昆沙門神楽による「御神楽」



講演した木曾功さん

「世界遺産学習」は、1998年に「古都奈良の文化財」が世界遺産に登録されたことをきっかけに、奈良県奈良市で産声をあげました。「人類共通の宝物を受け継いできた先人の思いを学ぼう」「地域を誇らしげに語れる子どもを育てよう」。この思いは奈良市だけでなく、全国の子どもたちにも必要な考え方であるということから、この世界遺産学習の取り組みを発信し、拡げるため同市において、2008年2月に奈良教育大学で「第1回世界遺産学習実践研究会」が開催されました。

研究会への参加者は年々増加し、名称を変更して10年11月に開催された「世界遺産学習全国サミット2010 in なら」には、多くの学校関係者らが日本各地から集まり実践を交流しました。平泉町は10年に「世界遺産学習連絡協議会」に参加。サミットには第4回から参加しています。サミットは第5回までを同

中学生が世界遺産学習の取り組みについて紹介しました。釜石東中の生徒は、昨年7月に世界遺産登録となった橋野鉄鉱山の歴史や礎を築いた先人について発表。斑鳩小の児童は、総合学習やクラブ活動で「能」に取り組みしており、ステージで謡や仕舞を披露しました。平泉小と長島小、平泉中の3校は、各校の代表者2人が郷土の歴史や文化を学ぶ「平泉学」などの取り組みについて発表しました。

実践発表に続いて、文化庁参与で千葉科学大学長の本曾功さんが「ユネスコ世界遺産とこれからの新しい教育(ESD)」と題して記念講演を行いました。本曾さんは「これからの教育には、子どもたちに世界に通じる技能と倫理観を身に付けさせることが必要。そのためには考える力を身に付けさせることが根幹にある」と話していました。参加者は実践発表や記念講演などを通じて交流を深めていました。

interview

世界遺産の町である平泉町を誇りに思う



ちば りな 千葉 理奈 さん

平泉中学校3年生(全体会の司会進行)

規模の大きいこのサミットで司会をするのは想像以上に緊張しましたが、めったにない機会を与えていただき、とても勉強になりました。世界遺産の町である平泉町を誇りに思い、これからもこの町を大切にしていこうと思いました。

interview

自分たちの活動をしっかり伝えることができた



すずき あみ 鈴木 杏実 さん

平泉中学校3年生(実践発表者)

実践発表をするにあたり、私は聞く人に伝わるような発表をすることを意識しました。大勢の前で発表するのは緊張するので、ゆっくり話すのが難しかったのですが、自分たちの活動をしっかり伝えることができたと思います。とても良い経験になりました。

interview

世界遺産学習全国サミットでの発表者として



こんの はるな 今野 陽菜 さん

平泉小学校6年生(実践発表者)

私は、大きな声でゆっくり、はっきり発表することを自分の目標として何度も練習してきました。当日はたくさんの方が来ていたので、緊張して早口にならないように気を付けました。本番では、ゆっくり、はっきり発表できたので良かったです。

interview

世界遺産学習全国サミットに参加して



いとう たくみ 伊藤 拓海 さん

長島小学校6年生(実践発表者)

世界遺産学習全国サミットでは、他の都道府県の皆さんが見ている中での発表で、とても緊張しましたが、練習した通りにゆっくりと発表することができました。平泉のことを全国に発信できる良い機会でした。参加できて良かったと思いました。

伝統文化や文化財の保護保全、価値継承に向けた取り組みを学び合う

第7回 世界遺産学習全国サミット in ひらいずみ

「世界遺産学習全国サミット」の歩み



長島小児童による実践発表

平泉中学生による実践発表

平泉小児童による実践発表

市、第6回を福岡県大牟田市で開催。今回は東日本で初となる当町での開催となりました。

全国各地の事例を共有した分科会

11月5日、平泉小学校を会場に「第7回世界遺産学習全国サミット in ひらいずみ」(町教育委員会など主催)を開催しました。午前中は県内外16地域の学校などの教職員らが、文化遺産や自然遺産・ジオパーク、ふるさと学習、ESD(持続可能な開発のための教育)をテーマに七つの分科会に分かれて事例を発表しました。世界遺産や地域の素材を生かした学習内容に、参加者は耳を傾けていました。

自分の地域に誇りを持つ児童生徒による実践発表

午後には開かれた全体会は平泉小学校体育館で開かれ、オープニングエキシビジョンとして町立幼稚園・平泉保育所年長児による「謡」、平泉・長島小学校5、6年生による「平泉讃歌」の合唱、平泉中学校有志・達谷窟昆沙門神楽による「御神楽」の演舞が披露されました。

児童生徒による世界遺産学習実践発表では、世界遺産のある釜石市、奈良県斑鳩町、当町の小